

Berlin Report

October 2019

CONTENTS

- * Project 1: Futurium / Museum
- * Project 2: Garten der irdischen Freuden / Exhibition

1. Futurium

Project Overview

9月にオープンした未来をテーマにしたミュージアム「Futurium」。ドイツ連邦教育研究省が「最新の技術でいかに未来をよりよくできるか」「未来をどうデザインしていくのか？」を伝えるために作った建物とあって、展覧会デザインも、未来を感じさせる技術を盛り込んだものとなった。

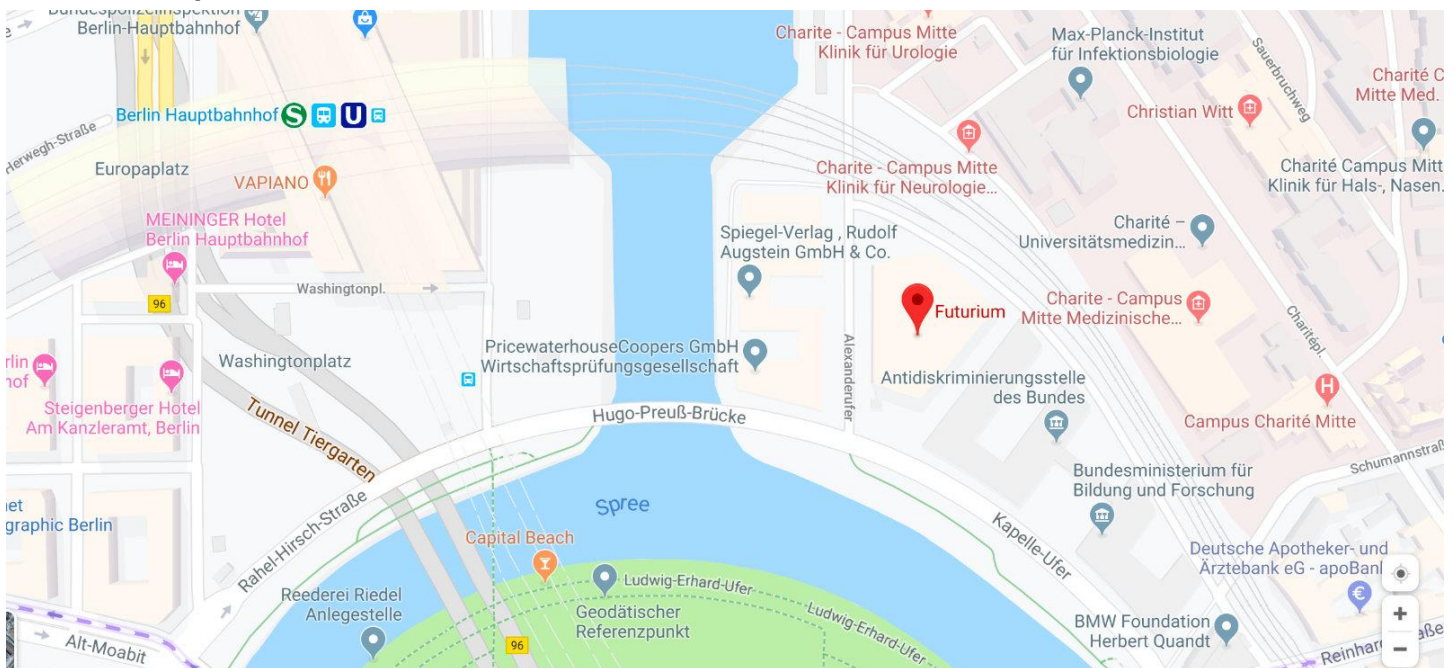
地上のエントランスフロアから2階の展示空間へ登る階段には、様々な情報や技術発展などの要素を巻き込んで広がっていく未来をイメージした、嵐のような形のオブジェが設置されている。嵐に巻き込まれるようにして上階に足を踏み入れると「ネオ・ネイチャー」と名付けられた巨大な有機的なフォルムを持つオブジェが目の前に現れる。ハイテク技術を駆使して作り上げた、1500個の木のパーツと4500個の連結用パーツを組み合わせてできた16のモジュールは、植物など自然界にあるフォルムや準結晶の構造体からインスピレーションを受けて作り上げられたもの。組み立てには、拡張現実ARが用いられ、展示室の様子をホロレンズによる3D画像で確認しながら行われた。側面には、展示の情報が取り付けられ、インフォメーションプレートの役割も果たす。

私たちの未来は、どんな形をしているのだろうか？

Project Details

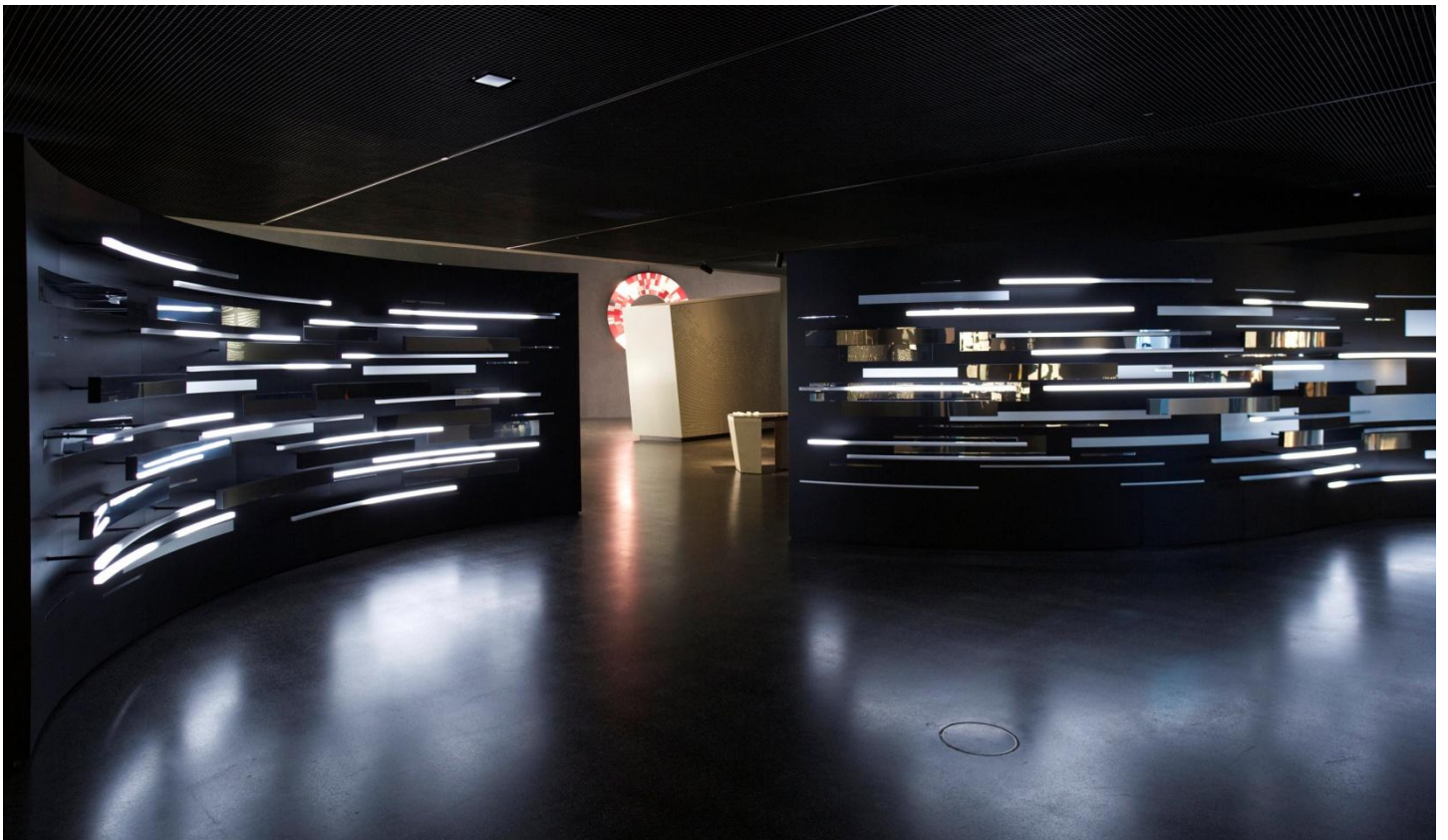
1. Type of Business : Museum
2. Open Date: 05/09/2019
3. Location: Alexanderufer 2, 10117 Berlin
4. Size: 3000 m2 (Exhibition)
5. Architects, exhibition design: Richtermusikowski, ART + COM, facts and fiction

Location Map





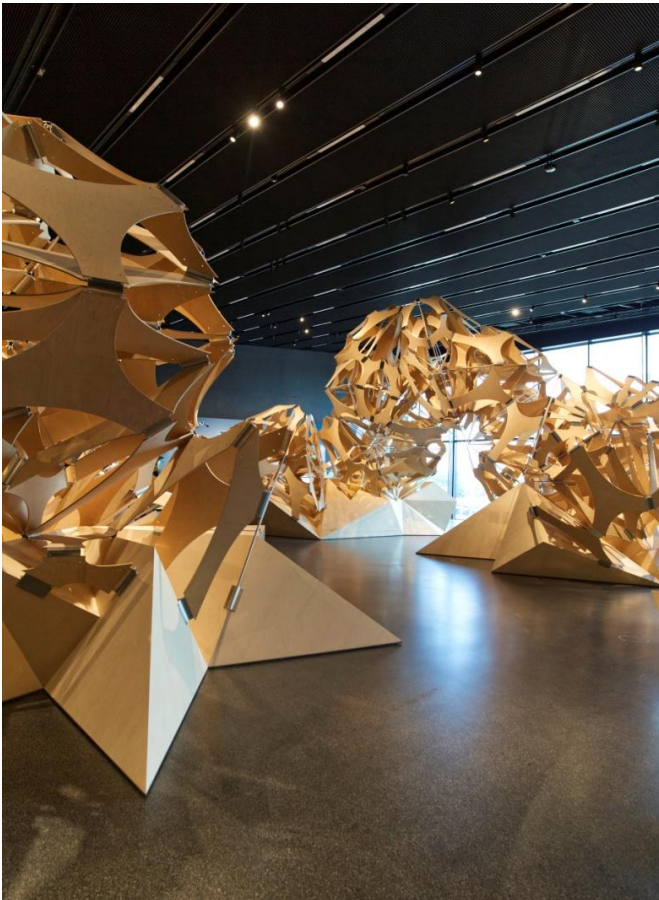
ART + COM が手がけた「ネオ・ネイチャー」は、自然と未来をテーマとした展示空間に設置されている。
組み立てを担当したのはベルリンの映画村、スタジオ・バベルスベルクの美術担当。8m の天井の高さを存分に生かしている。



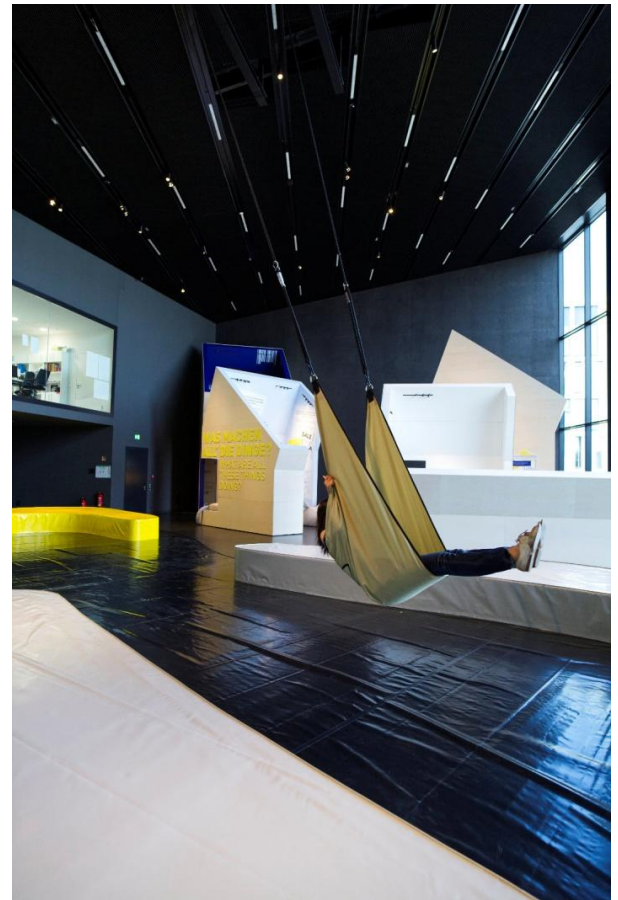
歴史を振り返る、展示の入り口



嵐のように様々な要素を巻き込んで成長していく未来のイメージで作ったというオブジェを展示フロアに登る階段に設置。



自然のフォルムを生かした建築や技術デザインのコーナー。
展示台の素材は木材。



人間をテーマにしたコーナーには家を形作ったボックスが
並ぶ。天井から吊るしたブランコは街を横断する線路に面した
窓に向かって未来のモビリティへ飛び込んでいくイメージ。



若手建築家デュオ Richter Musikowski が手がけた建築は低エネルギーハウス。

建物を覆うファサードは、金属反射プリントを施し、掃除不要、交換も楽だという 8000 個以上のガラスブロックでできている。



右：テラスにはソーラーパネルと蓄熱のパイプの間を通路を作って一般開放し、未来の建築のエネルギーのあり方を来場者にも実感してもらえる。中央駅からすぐ省庁の建物に囲まれた絶好の立地からの眺めも楽しめる。

2. Garten der irdischen Freuden

Project Overview

夏のオープンエアーのシーズンから9月のアートウィークを挟んで開催されている注目の展覧会「地上の歓喜の庭」。ここ数年のインテリアトレンドでもある「ボタニカル」「庭」「グリーン」。植物のモチーフ、自然界に存在する素材は、アートの分野でも大きなテーマとなっていた。その背景には、環境問題への意識、気候変動によって様々な生物が絶滅するのではという不安、自然への回帰や欲求という社会の流れがある。

広い展示空間をゆったりと使い、「庭」や「植物」と時間をかけて対峙できるように作品を並べたこの展覧会は、幅広い客層に好評を得ているようだ。

展覧会会場は、19世紀末に建てられた、マーティン・グロピウス・バウ。会場入り口にある広い吹き抜けはあえて暗くして、ラシッド・ジョンソンの「Antoine's Organ」を設置した。ブラックスチールの細い枠組みが風景に溶け込み、植物の深い緑の間に光るネオン管やモニターから漏れる光が不思議な効果をもたらしている。

吹き抜けをぐると囲む展示室には、毒々しいまでにカラフルな草間彌生の花や、ヘザー・フィリップソンのネオン色に輝く庭を並べてコントラストを作っている。まるで会場自体が大きな庭になったかのような展覧会。

アート関係者だけでなく、デザイナーからも好評を得ている。

Project Details

1. Type of Business : Exhibition
2. Open Date: 26/07/2019 – 01/12/2019
3. Location: Niederkirchnerstrasse 7, 10963 Berlin
4. Size: 3000 m2
5. Artist: Yayoi Kusama, Rashid Johnson etc.

Location Map





草間彌生の作品。空間すべてが水玉模様に覆われ、観客も作品の一部に。



重厚な空間に溶け込むラシッド・ジョンソンの作品。